

日本アジア投資株式会社 2019年3月期 第1四半期 決算補足資料

決算発表日：2018年8月13日

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準、または、従来連結基準)にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 2019年3月期第1四半期の実績(従来連結基準)	P4
3. 2019年3月期の通期業績見込(従来連結基準)	P20
4. 参考情報	P21

✓ 2019年3月期第1四半期実績(従来連結基準)

- ・ 前年同期比73.6% 減収、最終赤字5億円
- ・ 上場株式の売却が減少、プロジェクトの売却は実施せず
- ・ 海外投資先の回収見込額低下に伴い、評価損・引当が増加

✓ 営業活動の成果

- ・ ファンド増額実績: 事業承継型バイアウトファンド 6億円
- ・ 再生可能エネルギープロジェクト投資実行額 13億円
- ・ 期中売電開始プロジェクト 2件、5.0MW

✓ 2019年3月期 通期業績見込(従来連結基準)

- ・ 期初見込の変更なし、売却益は第4四半期に集中
- ・ IPOによる株式売却益で評価損・引当の超過を補う

業績数値

ハイライト P5

営業収益・営業原価内訳 P8

プライベートエクイティ投資損益内訳 P9

営業活動の状況

プライベートエクイティ投資実績 P11

再生可能エネルギープロジェクト投資実績 P14

2. 2019年3月期 第1四半期の実績-ハイライト P/L (従来連結基準)



	2018/3期 1Q 実績		2019/3期 1Q 実績			期初業績見込値	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率	金額 (百万円)	達成率
営業収益	717	100.0%	189	100.0%	△73.6%	3,450	5.5%
営業原価	101	14.1%	487	257.4%	380.6%	1,650	29.5%
営業総利益	615	85.9%	△297	△157.4%	-	1,800	-
販管費	307	42.8%	239	126.7%	△21.9%	1,100	21.8%
営業利益	308	43.0%	△537	△284.1%	-	700	-
経常利益	284	39.6%	△537	△283.9%	-	550	-
親会社株主に帰属する当期純利益	281	39.2%	△539	△285.0%	-	470	-
営業収益のうち、安定収益(※)	33	-	88	-	-	330	26.9%
販管費に占める安定収益(※)の割合	10.8%	-	37.1%	-	-	30.0%	-

- ✓ 前年同期比：73.6%減収、最終赤字5億円、営業収益のうち売却高が減少、営業原価のうち評価損が増加
- ✓ 通期見込比：営業収益5.5%、最終利益△10億円、第4四半期を中心にIPOによる売却益を獲得する見込み
- ✓ 安定収益：売電開始プロジェクトの増加により前年同期から増加

(※)安定収益：管理報酬、プロジェクト投資による持分損益のうち売却益・補助金収入以外の収益、プライベートエクイティ投資の利息・配当収入の合計額。

2. 2019年3月期 第1四半期の実績-ハイライト B/S (従来連結基準)



	2018/3期末実績		2019/3期 1Q 実績		
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率
総資産	19,220	100.0%	17,218	100.0%	△10.4%
うち 現預金	7,308	38.0%	4,695	27.3%	△35.7%
うち 営業投資有価証券 (プロジェクト投資)	3,582	18.6%	4,660	27.1%	30.1%
うち 営業投資有価証券 (プライベートエクイティ 引当後)	6,030	31.4%	5,501	32.0%	△8.8%
借入金	11,954	62.2%	10,486	60.9%	△12.3%
自己資本	6,545	34.1%	5,990	34.8%	△8.5%
現預金+プロジェクト投資△借入金	△1,063	-	△1,130	-	-

- ✓ プロジェクト投資は、新規実行の進捗により残高が増加
- ✓ 借入金残高104億円、ピーク時残高(社債含む)から77.2%削減
- ✓ 借入金返済に伴い現預金が減少、現預金・プロジェクト投資の合計額と借入金残高のバランスは△11億円、2018/3期末と同程度

2. 2019年3月期 第1四半期の実績-ハイライト C/F推移



(ファンド連結基準)

(単位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	18/3(1Q)	19/3(1Q)
営業活動によるCF	1,196	3,624	511	974	1,406	1,870	△377	△172
投資活動によるCF	277	437	213	470	△5	238	△4	△25
財務活動によるCF	△2,838	△1,424	△3,224	△1,404	△2,469	△2,173	△1,453	△1,468
CF増減額	△1,259	2,758	△2,371	△26	△1,100	△57	△1,844	△1,679
期末残高	5,554	8,313	5,942	5,915	4,815	4,757	2,970	3,078

- ✓ 営業CF: 損失の計上やファンドへの出資により1.7億円の支出
- ✓ 財務CF: 借入金の返済により14.6億円の支出

2. 2019年3月期 第1四半期の実績-営業収益・営業原価 内訳 (従来連結基準)



(単位:百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2018/3期 1Q 実績	2019/3期 1Q 実績	2018/3期 1Q 実績	2019/3期 1Q 実績	2018/3期 1Q 実績	2019/3期 1Q 実績
営業収益	717	189	274	154	442	34
管理運営報酬等	63	65	62	64	0	0
成功報酬	50	-	50	-	-	-
営業投資有価証券売却高	156	70	156	70	-	-
組合持分利益等	418	40	0	13	417	26
利息・配当収入	19	3	1	3	17	0
その他営業収益	8	8	2	1	5	6
営業原価	101	487	100	487	0	-
営業投資有価証券売却原価	62	64	62	64	-	-
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	33	415	33	415	-	-
組合持分損失等	4	5	3	5	0	-
その他営業原価	1	1	1	1	-	-
営業総利益	615	△297	173	△333	441	34

- ✓ プライベートエクイティ投資は、成功報酬が発生せず売却高も減少、加えて評価損や引当金繰入が増加し、営業総損失
- ✓ プロジェクト投資は、プロジェクトの売却益や補助金収入が発生せず組合持分利益が減少、プライベートエクイティを補えず

2. 2019年3月期 第1四半期の実績 - プライベートエクイティ投資損益 内訳 JAIC

単位:百万円

2018/3 (1Q)	合計	国内 上場	国内 未上場	海外 未上場
(A)売却高	156	110	12	33
(B)売却原価	62	43	2	16
(A-B)実現キャピタルゲイン	94	67	9	17
(C)評価損・引当繰入額	33	-	25	7
(A-B-C)投資損益	61	67	△15	9

2019/3 (1Q)	合計	国内 上場	国内 未上場	海外 未上場
(A)売却高	70	1	58	11
(B)売却原価	64	0	49	14
(A-B)実現キャピタルゲイン	5	1	8	△3
(C)評価損・引当繰入額	415	-	12	403
(A-B-C)投資損益	△409	1	△3	△406

- ✓ 国内上場株の売却減少 ⇒ 売却高・実現キャピタルゲインが減少
- ✓ 海外未上場株の売却見込額低下 ⇒ 評価損・引当繰入額が増加

営業活動の状況

プライベートエクイティ投資実績 P11

再生可能エネルギープロジェクト投資実績 P14

投資実行額合計 2社、1億円

JAIC企業育成ファンド
 (ベンチャー企業向けセカンダリーファンド)



接骨院・整骨院向け各種ソリューション
 提供でトップクラスシェア

- システム導入による患者情報の管理強化、EMS等の
 施術機器を用いた自費メニュー導入、人材教育支援、
 会計サポートなどをトータルに提供
- 資本金(資本準備金を含む)2.8億円、従業員数81名



患者情報管理システム
 「LigooPOS&CRM」



電気施術機器
 「EMS-indepth-」

瀋陽ファンド
 (中国瀋陽市の成長企業向けファンド)



医療機関向けの人工授精用医療機器の
 開発・生産を行うスタートアップ企業

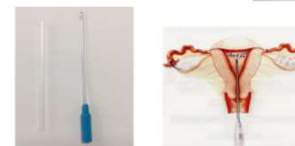
- 卵細胞収集器、胚移植導管、人工授精管について、
 国家食品医薬品监督管理局(CFDA)より中国国内にお
 ける生産・販売承認を取得
- 2011年4月設立、資本金6.7百万元



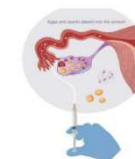
卵細胞収集器



胚移植導管

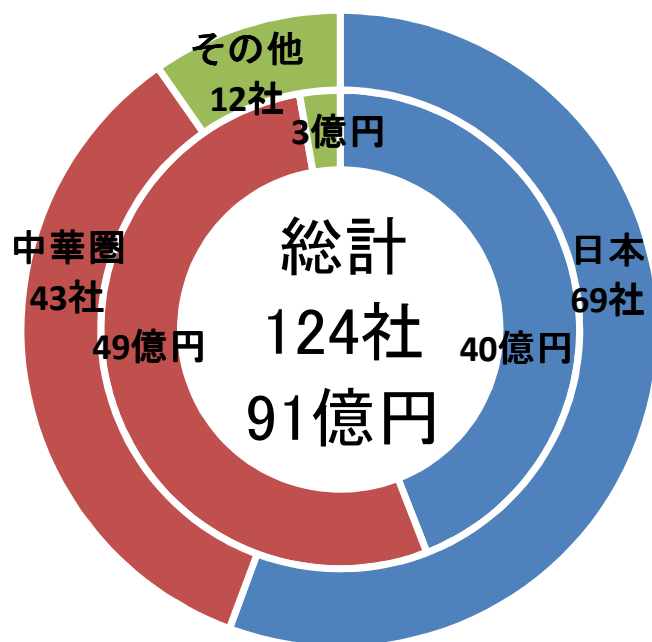


人工受精管

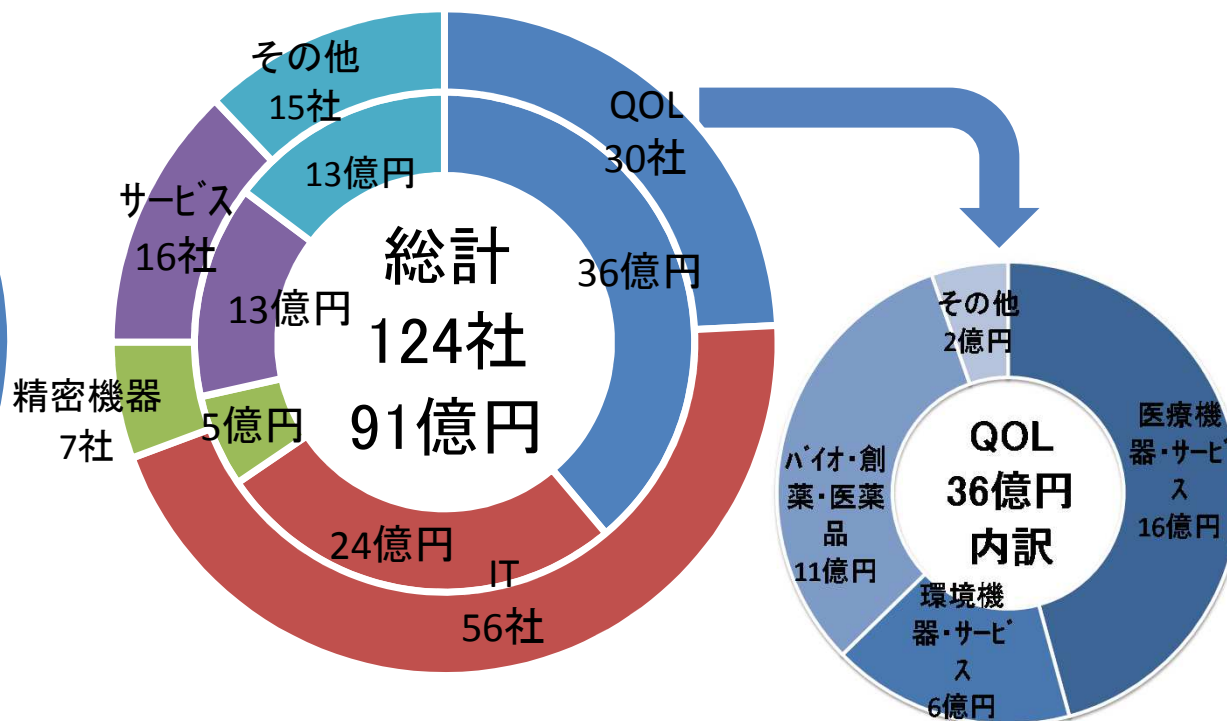


投資残高合計 124社、91億円

【地域別内訳】



【業種別内訳】



1社当たり平均投資金額:

日本 59百万円、中華圏 113百万円 / QOL 119百万円、IT 44百万円

2. 2019年3月期 第1四半期の実績

-営業活動の状況 プライベートエクイティ 投資先の事業進捗事例



株式会社ティムス

急性期脳梗塞患者向け治療薬の開発

- 発症から治療までの制限時間を既存薬の4-5時間から12時間まで伸ばすことを目指す
- 2018年6月、アメリカの大手バイオ医薬品企業バイオジェン社とティムスとの間で、オプション契約を締結
- ティムスは、この契約により、一時金約4億円を獲得
- 今後バイオジェンがオプションを行使した場合には、ティムスに対して約18億円が支払われる
- また、開発状況や販売状況に応じて最大約335億円の時金や売り上げに応じた段階的なロイヤリティをティムスが受領することができる
- 2005年2月設立、資本金99百万円



mtes Neural Networks 株式会社

LoRaを活用したIoTプラットフォーム

- 少電力で広域をカバーする無線通信方式「LoRa(ローラ)」を活用したIoTプラットフォーム事業、エネルギー/ヒューマン/構造物を対象としたヘルスマニタリング事業
- 2018年6月、トッパン・フォームズ株式会社からの第三者割当増資が決定、増資後は同社の関連会社となる
- 調達資金は、IoTプラットフォーム構築やAIロボットセンサー開発、AI専門人材の雇用などに充当する計画
- トッパン・フォームズ株式会社とは2017年10月に資本提携、今回の増資でさらに関係を深化し役員1名を受入れ
- 2015年3月設立、資本金715百万円

投資実行額合計 4件、13億円

所在場所	電源種類	発電容量	特徴
三重県	風力	16.0MW	既存案件への追加投資
北海道	太陽光	2.0MW	新規案件
岐阜県	太陽光	20.0MW	新規案件
青森県	バイオガス	0.03MW	新規案件

2. 2019年3月期 第1四半期の実績

-営業活動の状況 再生可能エネルギープロジェクト投資実績 (2018年6月末)



メガソーラープロジェクト

売電中	11件	26.9MW
建設・企画	9件	55.6MW
合計	20件	82.5MW
(うち当社出資持分)		42.6MW
上記の他		
売却・他回収済	18件	111.5MW
当社持分未確定	1件	20.0MW

その他再生可能エネルギー

木質バイオマス(売電中)	1件	2.0MW
バイオガス(建設中)	2件	1.6MW
風力(企画)	1件	16.0MW

熊本県 太陽光
1件 3.1MW

香川県 太陽光
3件 6.3MW
1件 2.4MW

三重県
木質バイオマス 1件 2.0MW
太陽光 3件 28.0MW
風力 1件 16.0MW

東京都 バイオガス
1件 1.6MW

茨城県 太陽光
1件 2.3MW

福島県 太陽光
1件 1.2MW
1件 2.4MW

宮城県 太陽光
1件 2.4MW

岩手県 太陽光
3件 7.3MW
1件 2.7MW

愛知県 太陽光
1件 2.3MW

青森県
バイオガス
1件 0.03MW

北海道 太陽光
1件 4.4MW
2件 17.7MW

※ 各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

2. 2019年3月期 第1四半期の実績

-営業活動の状況 再生可能エネルギープロジェクト投資実績(2018年6月末)



電源種類		所在地	発電容量(MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)	プロジェクト総額	投資形態
太陽光	1	熊本県球磨郡錦町	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40	約10.5億円	共同投資
	2	愛知県常滑市	2.3	売電中 (2016年8月売電開始)	36	約7.8億円	共同投資
	3	岩手県一関市藤沢町	2.3	売電中 (2016年9月売電開始)	36	約7.3億円	共同投資
	4	茨城県つくばみらい市	2.3	売電中 (2017年3月売電開始)	36	約8.5億円	共同投資
	5	香川県さぬき市野間池	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36	約8億円	共同投資
	6	福島県耶麻郡	1.2	売電中 (2017年9月売電開始)	36	約3.4億円	共同投資
	7	香川県さぬき市御田神池	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32	約5億円	共同投資
	8	岩手県一関市花泉町	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36	約8億円	共同投資
	9	北海道帯広市	4.4	売電中 (2018年3月売電開始)	40	約22億円	JAIC単独
	10	香川県さぬき市中王田池	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36	約8.6億円	共同投資
	11	岩手県一関市藤沢町吉高	2.6	売電中 (2018年6月売電開始)	36	—	共同投資
	12	香川県さぬき市東王田池	2.4	建設・企画中 (※2018年7月売電開始)	36	—	共同投資
	13	岩手県一関市藤沢町鈴ヶ沢	2.7	建設・企画中	36	—	共同投資
	14	宮城県	2.4	建設・企画中	36	—	共同投資
	15	三重県	2.4	建設・企画中	32	—	共同投資
	16	北海道紋別市	15.7	建設・企画中	40	約66億円	共同投資
	17	北海道	2.0	建設・企画中	36	—	JAIC単独
	18	三重県	24.4	建設・企画中	24	—	共同投資
	19	福島県	2.4	建設・企画中	32	—	共同投資
	20	三重県	1.2	建設・企画中(※2018年7月回収完了)	32	—	共同投資
合計82.5MW (うち当社出資持分 42.6MW)							
太陽光		岐阜県	20.0	建設・企画中	40	—	—
木質バイオマス		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	—	—	共同投資
バイオガス		東京都羽村市	1.6	建設・企画中	39	—	共同投資
		青森県	0.03	建設・企画中	39	—	共同投資
風力		三重県	16.0	建設・企画中	22	—	共同投資

2. 2019年3月期 第1四半期の実績

-営業活動の状況 再生可能エネルギープロジェクト実績-投資事例①



香川県さぬき市中王田池で水上発電所が売電開始



発電所名称: 中王田(なかおうだ)池
ソーラー発電所

最大出力 : 約2.4MW
(※太陽電池パネル設置容量ベース)

想定年間発電量: 約306万kWh
(※一般家庭約690世帯分の年間電力使用量相当)

プロジェクト総額 : 約8.6億円
(※うち80%を金融機関からのプロジェクトファイナンスで調達)

固定買取価格 : 36円/kWh(税別)

売電開始: 2018年4月1日

- 当社3件目となる水上メガソーラー発電所が完成 (※4件目も7月1日に完成済み)
- 水上に建設することで、パネル設置面を平坦にする造成工事のコストが不要
- 周辺に遮蔽物が無いため日照条件が良好
- 水面の冷却作用でパネルの温度を低く保ち、発電効率を維持

2. 2019年3月期 第1四半期の実績

-営業活動の状況 再生可能エネルギープロジェクト実績-投資事例②



メガソーラーシェアリング発電所が一部完成



発電所名称 : 一関市吉高太陽光発電所

所在地 : 岩手県一関市藤沢町

最大出力 : 約2.6MW (5.3MWのうち一部)

想定年間発電量: 約304万kWh

※一般家庭約687世帯分の年間電力使用量相当

売電開始 : 2018年6月30日

出資者 : 当社、リニューアブル・ジャパン(株)、
東急不動産(株)

融資: (株)東北銀行によるプロジェクトファイナンス

EPC: 三菱電機システムサービス(株)

- 太陽光を農業と発電で「シェア」する「ソーラーシェアリング」
- 2か所の発電所(合計5.3MW)のうち、1か所(2.6MW)が完成
- 農地に支柱を立て一定の間隔を空けてパネルを設置、その下で大型農機で大麦を栽培
- 発電事業収入の一部を20年間に亘り営農支援費用として支払い、地域創生に貢献

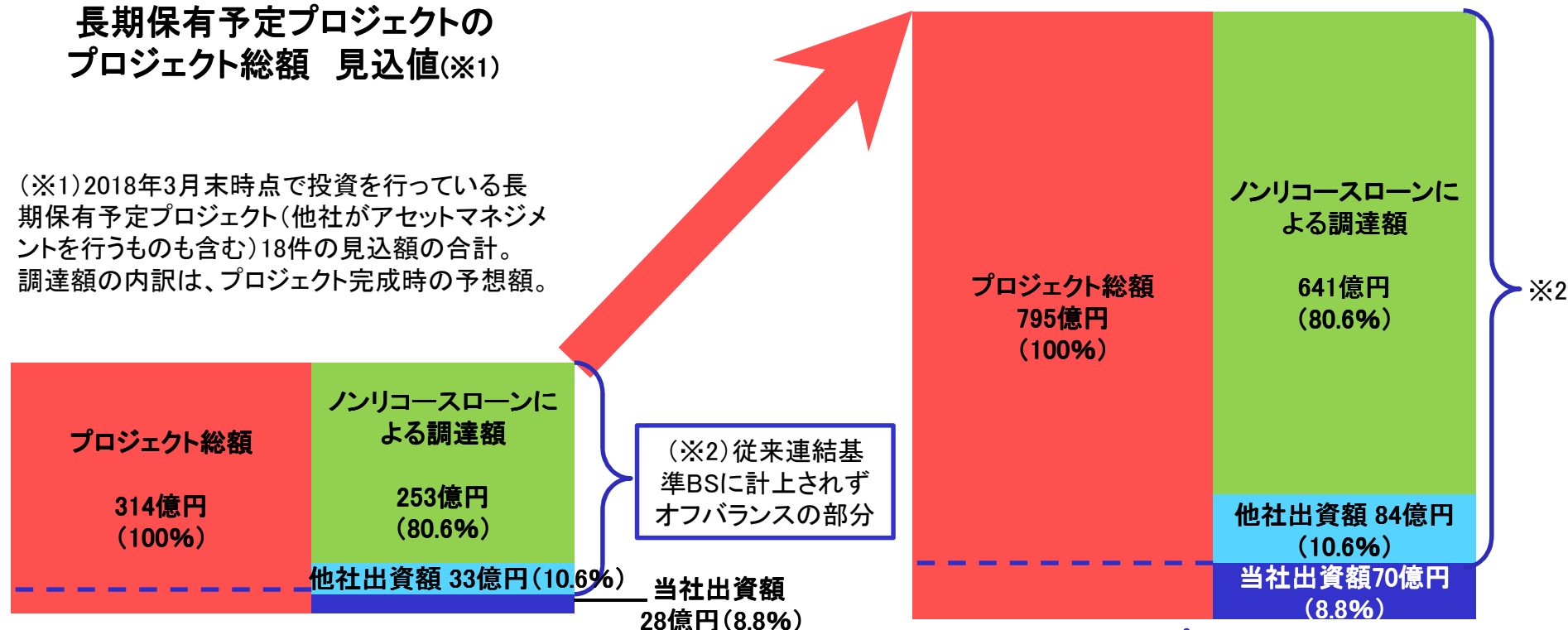
2. 2019年3月期 第1四半期の実績

-営業活動の状況 再生可能エネルギープロジェクト-プロジェクト総額



長期保有予定プロジェクトの プロジェクト総額 見込値(※1)

(※1)2018年3月末時点で投資を行っている長期保有予定プロジェクト(他社がアセットマネジメントを行うものも含む)18件の見込額の合計。調達額の内訳は、プロジェクト完成時の予想額。



- ✓ 2018年3月末時点の長期保有予定プロジェクトの、プロジェクト総額は合計で314億円の見込み
- ✓ 従来連結基準では、プロジェクト総額のうち「当社出資額」28億円(8.8%)以外は、オフバランス(※2)
- ✓ 当社中期経営計画では、2021年3月末までに当社出資額を70億円まで積上げることを目指す。仮に、今後投資するプロジェクトにおいても、既存の長期保有予定プロジェクトと同じ割合で資金調達を行うと仮定した場合、当社出資額70億円に対応するプロジェクト総額は795億円に拡大する。

(注)中期経営計画とは2019年3月期から2021年3月期の中期経営計画です。なお、当該中期経営計画および本資料の記載事項はその策定時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

3. 2019年3月期の業績見込値(従来連結基準)



従来連結基準	2019/3期 期初見込	2019/3(1Q)実績	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	進捗率
営業収益	3,450	189	5.5%
うち ファンド報酬	240	65	27.2%
うち 売却高(プライベートエクイティ)	2,800	70	2.5%
うち 売却高(プロジェクト)	-	-	-
うち 組合持分利益等	400	40	10.2%
うち その他	10	12	123.4%
営業原価	1,650	487	29.5%
うち 売却原価(プライベートエクイティ)	1,300	64	5.0%
うち 売却原価(プロジェクト)	-	-	-
うち 評価損・引当	350	415	118.7%
うち その他	-	6	-
営業総利益	1,800	△297	-
販管費	1,100	239	21.8%
営業利益	700	△537	-
経常利益	550	△537	-
親会社に帰属する当期純利益	470	△539	-

期初見込の前提

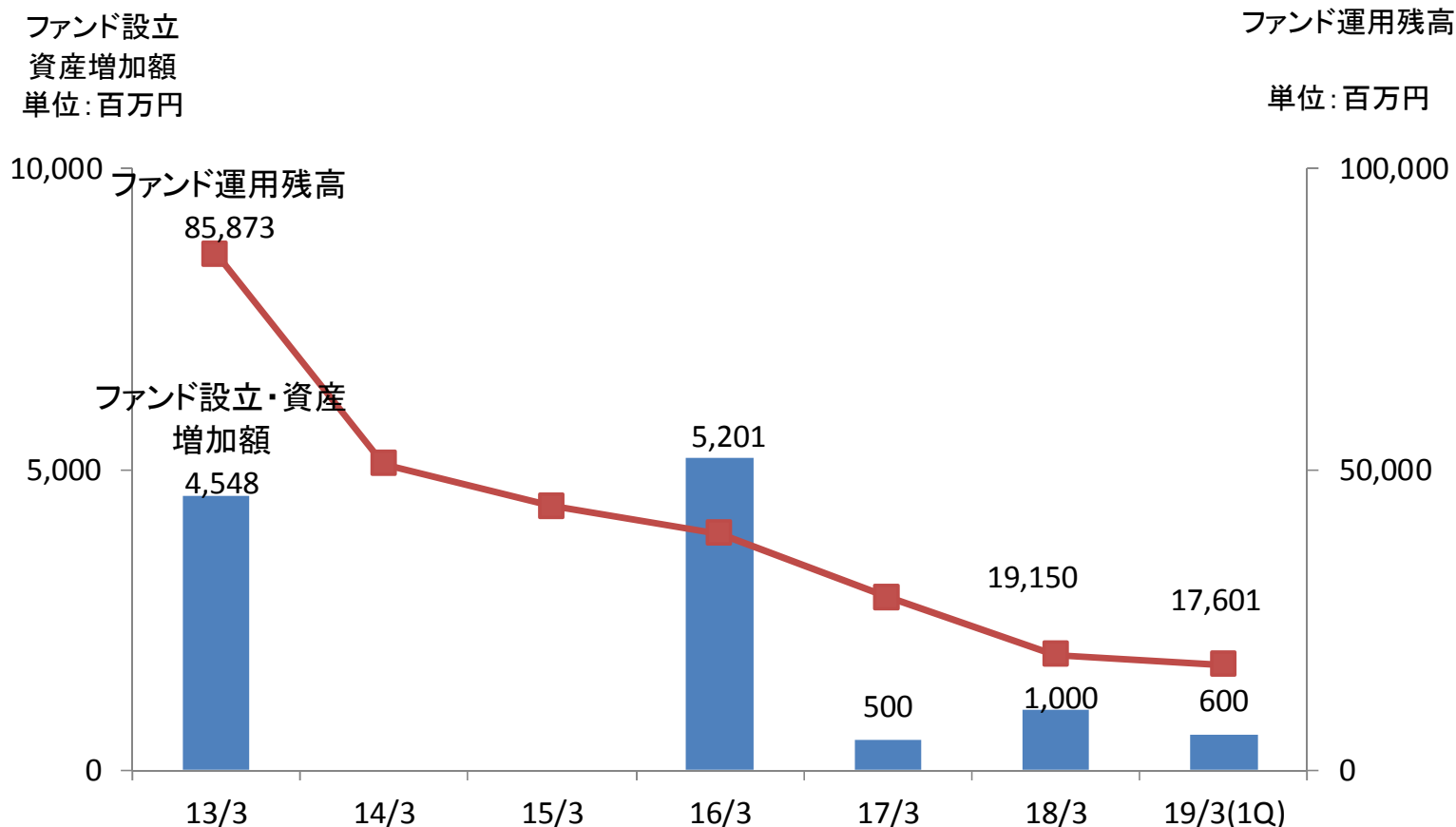
- ・ファンド報酬は既存分のみ、成功報酬は見込まず
- ・プライベートエクイティの売却高、売却原価は、主に、国内の新規上場と、中華圏の未上場株式の売却により構成
- ・営業収益のうち組合持分利益等は、再生可能エネルギープロジェクトの売却と売電収益等の合計を見込む
- ・営業外収益に為替差益、営業外費用に支払利息を見込む。特別損益は見込まず
- ・課税所得発生による税金負担の発生を見込む

- ✓ 期初見込みに変更なし、売却益は第4四半期集中発生の見込み
- ✓ IPOによる株式売却益で、評価損・引当の超過を補う見込み

業績見込値は現時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

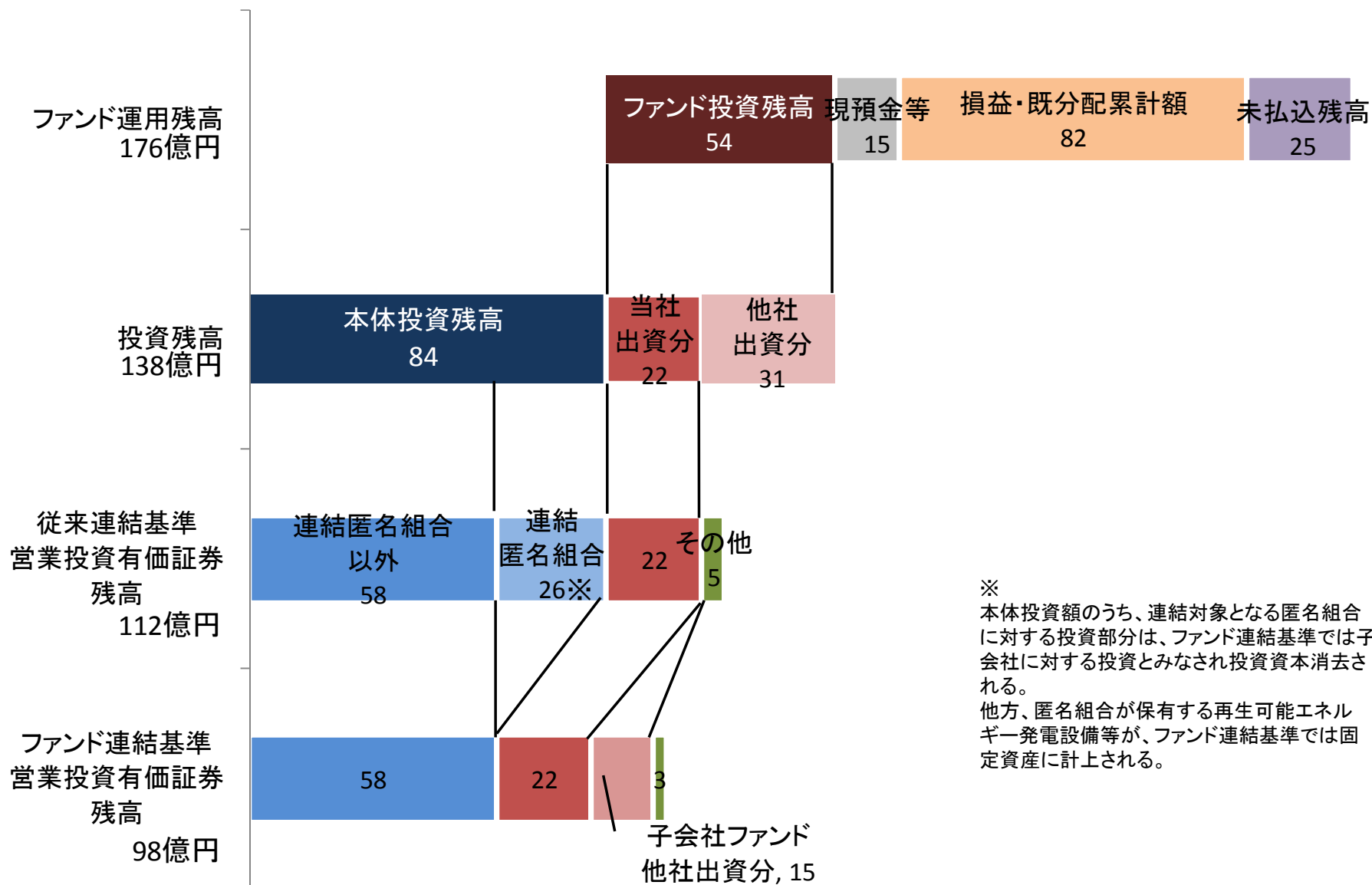
ファンド運用残高	P22
ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券 残高の関係	P23
主要データの推移	P24
営業収益・営業総利益 内訳(従来連結基準)	P26
上場実績	P27
JAICの強み	P28
収益構造	P29
会社概要	P31

ファンド運用残高



- ✓ 事業承継型バイアウトファンドの追加募集で6億円の出資を獲得
- ✓ 運用を他者に引き継いだファンドの影響を受け運用残高は減少

ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係



※
本体投資額のうち、連結対象となる匿名組合に対する投資部分は、ファンド連結基準では子会社に対する投資とみなされ投資資本消去される。
他方、匿名組合が保有する再生可能エネルギー発電設備等が、ファンド連結基準では固定資産に計上される。

主要データの推移 ①



・ファンドの状況、投資の状況

(単位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3(1Q)
ファンド設立・資産増加額	4,548	-	-	5,201	500	1,000	600
ファンド運用残高	85,873	50,888	43,897	39,335	28,753	19,150	17,601
うち 当社グループ出資額				14,004	9,427	5,867	5,801
投資実行額	4,746	4,189	2,728	4,093	4,315	3,887	1,429
投資残高	33,886	25,862	19,722	18,783	16,558	13,981	13,813

主要データの推移 ②



・業績、財務状況（従来連結基準）

(単位:百万円)	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3(1Q)
業績							
営業収益	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	5,403	189
営業総利益	176	2,474	882	1,554	2,176	2,328	△297
販売費及び一般管理費	2,000	1,621	1,433	1,472	1,339	1,311	239
営業利益	△1,823	852	△550	82	836	1,017	△537
経常利益	△2,612	374	△610	612	726	954	△537
親会社株主に帰属する当期純利益	△2,575	462	△850	597	553	874	△539
財務状況							
現預金	8,550	10,428	9,437	8,202	6,213	7,308	4,695
営業投資有価証券(プロジェクト投資)	-	608	1,337	3,722	4,081	3,582	4,660
引当後 営業投資有価証券(プライベートエクイティ)	15,452	12,380	10,364	8,226	7,356	6,030	5,501
借入金・社債・予約権付社債	25,433	24,010	20,193	16,910	14,128	11,954	10,486
自己資本	1,565	2,573	3,373	4,976	5,686	6,545	5,990
総資産	28,272	27,302	24,396	22,680	20,305	19,220	17,218

営業収益・営業原価 内訳 (従来連結基準)

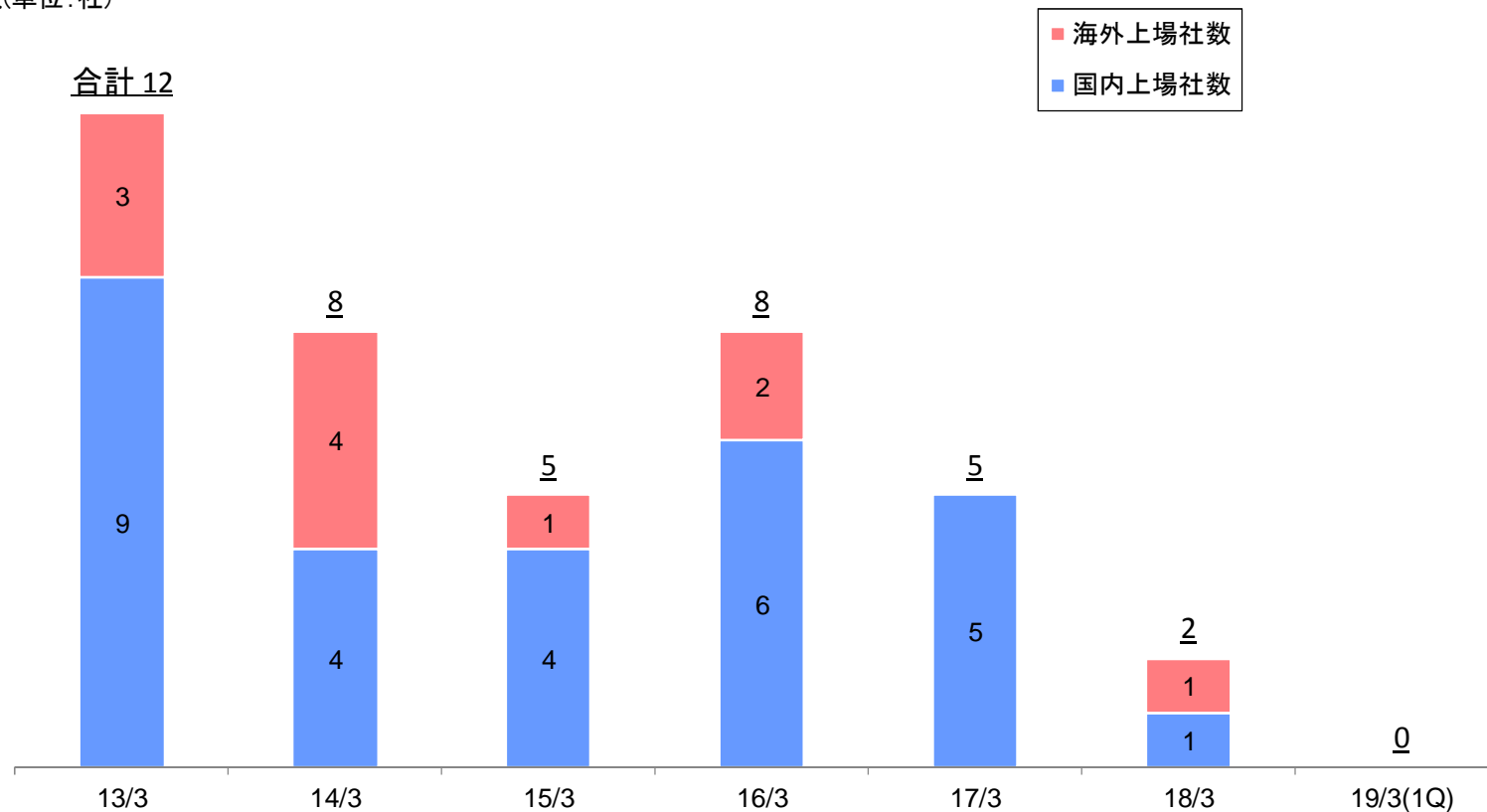


(単位:百万円)		13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	18/3(1Q)	19/3(1Q)	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務									
	管理運営報酬等	815	733	571	441	364	277	63	65	2.1%
	成功報酬	37	132	63	288	101	86	50	-	-
	営業収益	852	865	634	729	466	364	114	65	△43.2%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	852	865	634	729	466	364	114	65	△43.2%
2.	投資業務									
	営業投資有価証券売却高	2,411	4,656	3,651	2,954	2,275	3,219	156	70	△54.7%
	組合持分利益等	194	357	100	295	1,128	1,612	418	40	△90.2%
	利息・配当収入	95	121	93	49	30	64	19	3	△80.3%
	営業収益	2,701	5,134	3,844	3,300	3,434	4,897	593	115	△80.5%
	営業投資有価証券売却原価	1,385	2,133	1,767	1,863	1,423	2,469	62	64	4.4%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	2,038	1,480	1,704	569	274	562	33	415	1152.6%
組合持分損失等	158	52	168	47	46	36	4	5	19.3%	
	営業原価	3,582	3,666	3,640	2,481	1,744	3,069	99	485	386.2%
	営業総利益	△880	1,468	203	818	1,690	1,827	493	△370	-
3.	その他									
	営業収益	229	154	53	13	25	142	8	8	2.1%
	営業原価	25	15	9	7	6	5	1	1	△7.2%
	営業総利益	204	139	44	5	19	136	6	7	4.0%
合計										
	連結営業収益	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	5,403	717	189	△73.6%
	連結営業原価	3,607	3,681	3,650	2,488	1,750	3,074	101	487	380.6%
	連結営業総利益	176	2,474	882	1,554	2,176	2,328	615	△297	-

上場実績



上場社数(単位:社)



初値ベース投資倍率

(単位:倍)

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
国内	1.5	15.2	4.9	1.7	5.6	3.1
海外	3.4	2.2	1.8	-	-	3.2

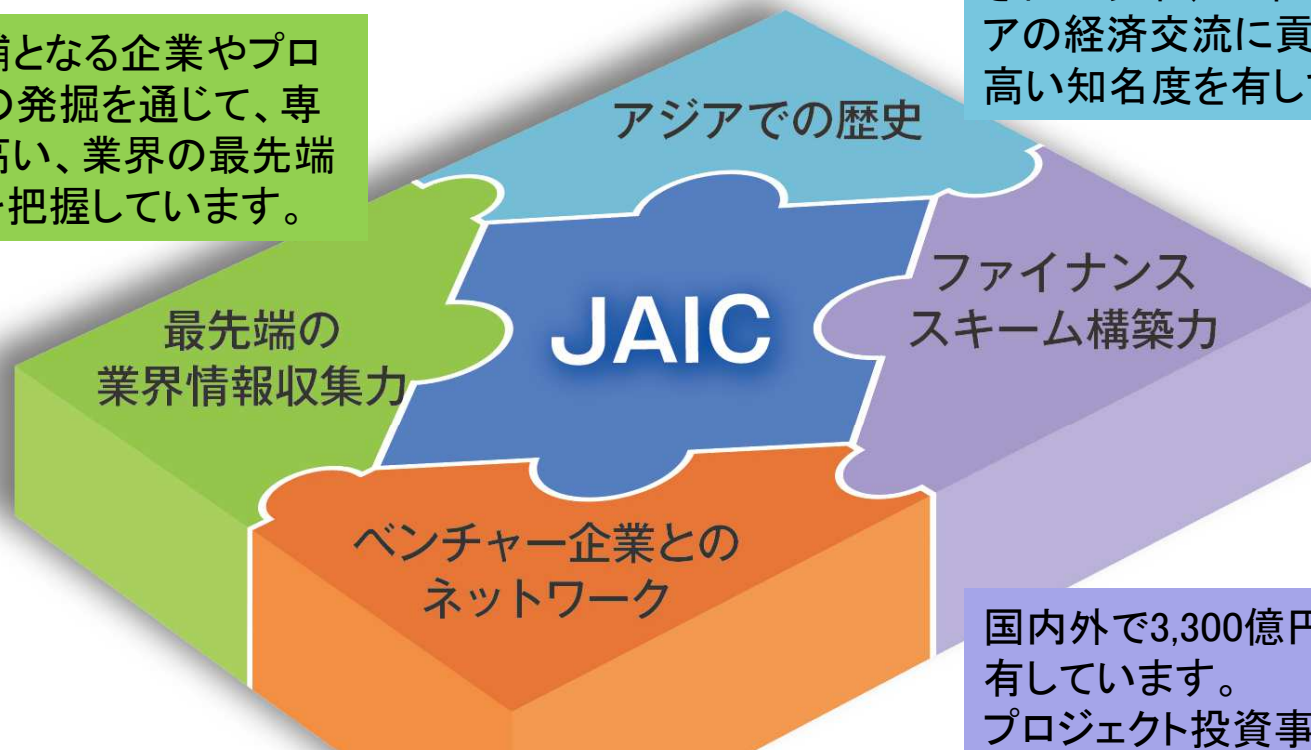
・新規上場件数には、14/3は2社、15/3は2社、16/3は2社、17/3は1社の株式交換等による上場株式取得分を含めております。

なお、初値倍率の計算には株式交換による上場株式取得分は含めておりません。平均初値倍率＝初値時価総額の合計／取得額の合計

JAICの強み



投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。



1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

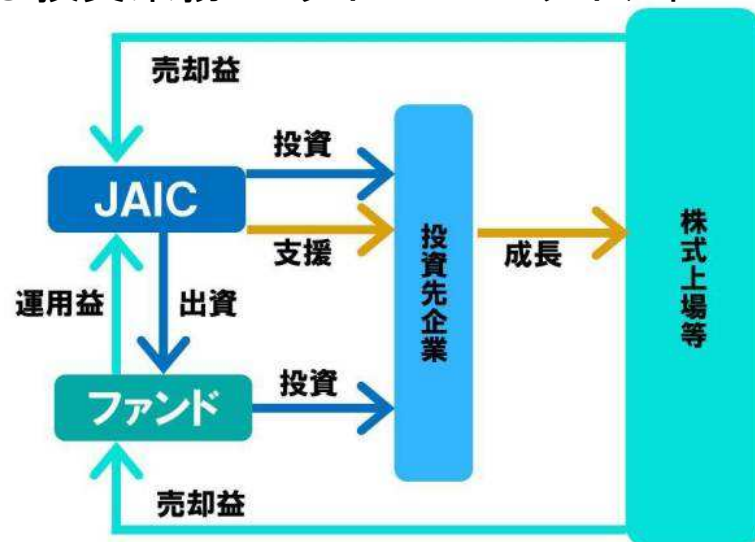
ファイナンススキーム構築力

国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。
プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。
そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

収益構造 - 投資業務

●投資業務:プライベートエクイティ

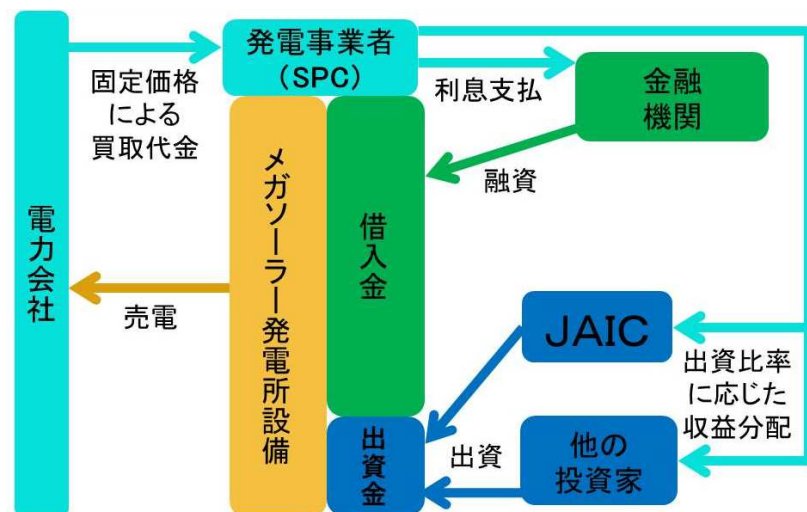


投資資金は、

- ・JAIC自身の手元資金からの拠出
- ・ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、出資比率に応じた運用益を獲得します。

●投資業務:再生可能エネルギープロジェクト



発電事業者は、発電所建設資金を、

- ・JAIC、他の投資家の出資金
 - ・金融機関からの借入金
- の2通りで調達し、発電所を保有します。

発電した電力は、固定価格で電力会社
に買い取られます

JAIC等の投資家は、出資比率に応じて、
売電を源泉とした安定収益を獲得します

収益構造 - ファンド管理業務



●投資事業組合等(ファンド)の管理業務



ファンドの管理業務では、

- ・経常的な管理・運営に対して受領する管理報酬
- ・ファンドのパフォーマンスに応じて受領する成功報酬

の2種類の報酬があります

会社概要(2018年6月末現在)



商号	日本アジア投資株式会社 (略称)JAIC
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
設立年月日	1981年7月10日
資本金	5,426百万円
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:8518)
従業員数	単体24名／連結41名
事業領域	・プライベートエクイティ投資 ・プロジェクト投資
役員	取締役会長(社外) 川俣 喜昭 : 取締役会議長 代表取締役社長 下村 哲朗 取締役 大森 和徳 : 監査等委員長 取締役(独立社外) 安川 均 : 監査等委員 取締役(独立社外) 沼波 正 : 監査等委員

JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 Tel(03)3259-8518 Fax(03)3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

IRに関するお問合せ先:

執行役員 岸本

管理グループ 丸山

IRに関するお問合せアドレス: ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。